



千 浜 っ 子

千浜小学校だより

号外

令和7年

9月1日

【教育目標】 笑顔いっぱい やる気いっぱい

全国学力・学習状況調査結果より(千浜小の成果と課題)

今年度も全国の小学6年生を対象に4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校は、国語、算数、理科において全国平均正答率を下回る結果となりました。この結果を校内で分析し、授業改善に生かし、児童の学力向上に努めていきます。

本調査は、学力調査だけでなく、児童が答える質問紙調査もあります。本調査から以下のような成果と課題が見えました。学校・家庭・地域が連携・協働して教育活動を行うことで、千浜の子どもたちの良さをさらに伸ばしていきます。

1 教科に関する調査の結果

【国語】○成果（本校において正答率の高いもの） △課題（本校において正答率が低いもの）

○書くこと：手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する問題
→引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

△書くこと：【調べたこと】をもとに、条件に合わせて文章を書き直す問題
→目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど自分の考えが伝わるように工夫して書くこと。

△読むこと：文章の空欄にあてはまる内容として適切なものを選択する問題
→目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけること。

△言葉の特徴や使い方に関する事項：漢字を書き直す問題 このみ、あついで
→漢字を文の中で正しく使うこと。

【算数】○成果（本校において正答率の高いもの） △課題（本校において正答率が低いもの）

○数と計算： $1 \div 2 + 1 \div 3$ の計算問題 →異分母の分数の加法の計算すること。

△データの活用：出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選びその理由を書く問題
→目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え、選択した理由について書くこと。

△数と計算・変化と関係：使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために必要な事柄を判断し、求め方を書く問題
→伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、求め方を式や言葉を用いて書くこと。

【理科】 ○成果（本校において正答率の高いもの） △課題（本校において正答率が低いもの）

○「エネルギー」に関する領域：電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻き方の変え方を書く問題
→電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを理解すること。

△「エネルギー」に関する領域：電気を通すか、磁石に引きつけられるか、それぞれの性質にあてはまるものを選ぶ問題
→身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを理解すること。

△「生命」に関する領域：顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ問題
→顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付けていること。

2 児童質問用紙の結果

【肯定的な回答が95%超えている設問】

- 人の役に立つ人間になりたい。
- 自分にはよいところがある。
- 先生は、自分のよいところを認めてくれる。
- 人が困っているときは、**進んで助けている**。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。
- 学校に行くのは、楽しい。
- 友達関係に満足している。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。

自己肯定感、自己有用感が育まれていることがうかがえます。

学校生活（友達との交流）は、児童にとって楽しいことがうかがえます

【学校としての今後の対策】

- 自分の考えをもち、表現する（書く・伝える）場面を大切にします。
- 基礎・基本的な事柄の定着を図るような習熟の時間を充実させます。

学力面では、計算・漢字などの基礎学力の更なる充実や、「読む力」「伝える力」を鍛えていくことが課題として浮かび上がってきました。これまでも「学習課題について根拠を明らかにして自分の考えを記述する活動」や「考えを仲間と伝え合う活動」を継続して授業で取り組んできました。その結果、自分の考えを何とか書こうとする児童が増えてきました。しかし、まだ全体として記述式の正答率が低いことから、学習の基盤となる「読む・書く・話す・聞く」といった国語の力を継続して高めていく必要があると考えます。

【保護者の皆様へ】

調査結果は、学力の全てを表すものではありません。子どもたちの毎日の努力を認め、励ますための材料です。学校では、今回の調査結果をもとに授業改善に取り組むとともに、子どもたちがさらに自信をつけられるよう全教育活動の充実に励んでいきます。

一方で、子どもの序列化や過度な競争にならぬよう留意していきます。
家庭での御理解と御協力をお願いします。

